

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	令和2年度
------	--------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認	2
1.	維持管理業務	2
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
2.	運營業務	7
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
3.	自主事業	11
II.	サービスの質の評価	12
1.	維持管理業務	
2.	運營業務	
3.	自主事業	
4.	総合評価	
III.	サービスの安定性評価(財務状況)	14
1.	事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
2.	経営分析指標	
IV.	総合評価	16
1.	目標	
2.	評価結果	

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	令和2年度
指定管理者	沖縄空手振興ビジョン推進パートナーズ 指定期間：令和2年4月～令和5年3月	所管課	文化観光スポーツ部 空手振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 利用者が快適に施設を利用するために、日々の清掃を実施する。		○	2名体制で毎日実施。 施設全てのトイレ・シャワー室は中性洗剤等を用いて毎日清掃。 道場施設、展示施設、特別道場は催事開催前後に清掃を実施する。 他、専有利用している時間帯を除き毎日清掃。 駐車場、園路は巡回清掃を実施。	道場施設、展示施設、駐車場、園路の清掃状況を確認するとともに、委託契約書の報告書の確認、指定管理者へのヒアリング等を実施。 日常清掃は、2名体制により毎日清掃が行われており、各施設は清潔に保たれている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。
〈定期清掃〉 定期的な清掃を実施する。		○	年1回実施。 フローリング床面、座席（道場棟及び展示棟全体）。 磁器タイル、琉球石灰岩（道場棟及び展示棟）。 絨毯床面（展示棟）。 年2回実施。 ガラス面（道場棟及び展示棟）	現場の確認、委託契約書、清掃業務の報告書の確認、指定管理者へのヒアリング等を実施。 定期清掃では、無垢木材にも配慮した方法で清掃が実施されている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き施設内の衛生管理や環境保全に努める。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p><環境衛生> 施設を安全に運用するために衛生設備の管理を徹底する。</p>		○	<p>残留塩素測定：週1回/ 飲料水貯水槽の清掃・点検：年1回/ 空気環境の測定業務：年6回/ 鼠・昆虫等の除去作業：夏冬の2回/ 水質検査：年1回/ 雑用水水質検査：年6回/ 簡易専用水道検査：年1回</p>	<p>環境衛生業務の報告書、委託契約書の確認、指定管理者へのヒアリング等を実施。 環境衛生面では、委託事業者による定期点検が行われていることを確認した。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 法的の基準のとおり検査・清掃が行われている。引き続き施設の衛生管理に努める。</p>
<p><設備点検> 電気設備、消防設備の点検等を実施し、管理を行う専門スタッフを配置する。</p>		○	<p>沖縄ビル管理株式会社による空調点検を実施。 受電設備、配電設備、非常用発電設備等の電気設備点検を年6回実施。／消防設備点検：年2回</p>	<p>指定管理者へのヒアリング、設備点検報告書、委託契約書の確認を実施。 設備関係では、施設の点検及び報告がされていることを確認した。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 引き続き施設の適切な保守点検に努める。</p>

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<開館日>		○	8時30分～21時30分の間、常時1名体制による警備を実施。	指定管理者へのヒアリング、警備日誌の確認を実施。 開館日及び閉館日の日中には警備員が常駐しており、夜間は室内センサーによる機械警備が実施され異常があった場合には警備員が急行する体制が構築されている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き館内の安全確保に努める。
<閉館日>		○	8時30分～17時15分の間（休憩1時間）、1名体制による警備を実施。			
<夜間>		○	21時30分～翌8時30分の間、機械警備を実施。また25時頃には巡回点検警備を実施。			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件につき20万円未満の物については指定管理者が実施。		○	道場施設内壁塗装（会議室、エントランス、廊下）/道場施設中庭床ニス塗/駐車場スロープひび割れ。建設工事の施工業者による補修/飲用水塩素濃度の適正值維持の為に貯水槽の水位調整/機械室配管外側に防水シリコン処理	補修箇所を確認したほか、指定管理者へのヒアリング、修繕等施設管理業務の報告書等の確認を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好 今後とも、不具合等が発生した場合は、迅速に対応し施設機能の維持に努める。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
該当なし	○					

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
職員等による防犯、応急手当の訓練実施。AED、救急薬品等の整理。県及び警察、消防等の関係機関を含めた危機管理体制の構築、危機管理マニュアルの整備を実施する。防災訓練を豊見城消防署の指導のもと定期的に実施する。	○		消防設備点検業務委託業者の指導のもと、①展示施設レストラン厨房から火災が発生したことを想定(9月)②屋外倉庫で火災が発生したことを想定(3月)初期消火活動、避難誘導訓練、館内防火・防災設備の操作訓練を実施。訓練結果について、豊見城消防署に報告した。	指定管理者へのヒアリングを実施し、危機管理マニュアルの整備状況、消防署への報告書を確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。消防訓練が適切に実施されている。 引き続き適切な防犯・防災対策に取り組むこと。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料金、観覧料の收受	○		<p><道場施設> 窓口にて職員が料金徴収を行った。</p> <p><展示施設> 券売機を設置し、両替への対応や領収書の発行等については、受付カウンター職員が対応した。</p> <p><屋外鍛錬場、特別道場前庭、特別道場> 管理事務所窓口にて職員が料金徴収を行った。</p>	券売機（道場施設入口、資料室入口）の設置、稼働状況、收受した現金の管理方法等を確認。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 今後とも適切な徴収業務に努める。
1. 維持管理業務 取組改善案	維持管理業務（清掃、保守点検等）について適切に実施されている。引き続き、安全・安心に利用できるよう施設の適切な維持管理に努めるものとする。					

2. 運營業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和元年度 実績	事業計画 (目標値)	令和2年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
					前年 比	計画 比		
利用者 数	道場施設	道場(共用利用)	2,425人	2,497人	670人	27.6%	26.8%	目標値に対する達成率の平均は82.1%となっている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部利用制限を行ったことが利用者数の減に影響している。引き続き感染防止対策を徹底する。
		道場(専用利用)	176団体	181団体	161団体	91.5%	89.0%	
		鍛錬室(共用利用)	844人	869人	251人	29.7%	28.9%	
		鍛錬室(専用利用)	444団体	457団体	692団体	155.9%	151.4%	
		研修室(専用利用)	621団体	638団体	766団体	123.3%	120.1%	
		小会議室(専用利用)	420団体	432団体	331団体	78.8%	76.6%	
	展示施設	一般(個人)	5,067人	5,219人	1,326人	26.2%	25.4%	
		一般(団体)	803人	827人	108人	13.4%	13.1%	
		高・大学生(個人)	329人	338人	65人	19.8%	19.2%	
		高・大学生(団体)	54人	55人	54人	100.0%	98.2%	
		小・中学生(個人)	737人	759人	124人	16.8%	16.3%	
		小・中学生(団体)	318人	327人	163人	51.3%	49.8%	
		シルバー(65歳以上)	2,407人	2,544人	289人	12.0%	11.4%	
	計							

評価(①利用状況)

B

※道場施設

評価(①利用状況)

C

※展示施設

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S: 110%以上

A: 100%以上、110%未満

B: 80%以上、100%未満

C: 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉 休館日以外	<ul style="list-style-type: none"> ・水曜日 ・12月30日 ～1月3日 	指定管理者へのヒアリングのほか、毎月の月報により確認	<p>報告書のとおり適切に実施されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休館の実施 (4/11～5/13, 8/1～9/5) ・開館時間の繰り上げ (10/25) ・開館時間の短縮(1/19～2/28)を実施 	<p>良好 引き続き、利用者への適切なサービスに努める。</p> <p>休館日の臨時開館及び開館時間の変更については、引き続き条例に基づき適宜協議すること。</p>
〈開館時間〉 展示施設：9時～18時 展示施設以外：9時～21時	<p>展示施設 9時～18時</p> <p>展示施設以外 9時～21時</p>			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p><専用利用> 館内掲示、HPにて随時会館の空き状況を提供する。FAX等にて利用申請受付。前金の支払いにて利用許可としている。</p> <p><共用利用> 空きがある場合は随時受付する。少人数で気軽に利用する機会を提供する。実施にあたっては、安全性を確保した定員数及び基準の利用枠を考慮した設定とし、HPにて随時空き状況をお知らせする。</p>	○		<p><専用利用> 沖縄空手会館利用規程に基づき公平・平等性を基本に提供した。空き状況は、電話対応はもとより沖縄空手会館HPでお知らせしている。利用申請受付は窓口対応をはじめ、FAX及び電子メール等でも対応している。前金の支払いにて利用許可としている。</p> <p><共用利用> 事業計画のとおり対応した。</p>	指定管理者へのヒアリングにより確認	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好 引き続き、利用者への適切なサービスに努める。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
国・県・市町村、関係団体、観光業界、マスコミ等との連携	○		新聞、ラジオ、雑誌・書籍、ツーリズムイベント、WEB等様々な媒体で12件の広報を実施した。	指定管理者へのヒアリングにより確認。ツーリスト「本社と連携した広報、雑誌等への広告掲載等を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 ターゲット層に応じた広報媒体等を工夫するなど、効果的な広報に努める。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の漏洩、滅失及び棄損の防止、その他個人情報の適正管理に努める。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議を定期的に行い、懸念事項等を事前にチェックした。 ・施設予約状況の公開に際しては、催事主催者に対し公表の可否を事前に確認し実施している。 ・個人情報を含む重要書類については金庫に保管している。また、廃棄に際してはシュレッダーにかけている。 	指定管理者へのヒアリングにより確認。	報告書のとおり適切に実施されている。	良好 引き続き適切な情報管理に努める。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
レストラン 【収入】 2,000,000円	○		沖縄そば、かき氷の販売 【収入実績】 4,261,680円	指定管理者への ヒアリングにより確認	報告書のとおり適切に実施されている。	新型コロナウイルス感染症防止対策等の影響で利用者が減少する中で、創意工夫により事業を進めることができたことから、計画を上回ることができた。引き続き、各事業を通して施設利用者の利便性の向上に努める。 ・レストラン事業では、そば、ぜんざい等の人気メニューの開発により、計画を上回る収入を確保した。 ・売店事業においては、利用者の減少により店舗での売上げは減少したものの、ネット販売でのオリジナルマスク等の販売が伸びたことから、計画を上回る収入を確保した。 ・空手体験教室は、コロナの影響により、事業を実施することができなかった。
その他 【収入】 2,153,000円	○		自主事業の教室・セミナー運営等の収入 【収入実績】 867,636円		報告書のとおり適切に実施されている。	
売店 【収入】 915,000円	○		空手関連グッズの開発として、冷感マスクやTシャツ等を制作・販売。沖縄空手会館HPでも販売を実施。 【収入実績】 1,741,245円		報告書のとおり適切に実施されている。	
空手体験教室 【収入】 200,000円	○		沖縄伝統空手道振興会とのタイアップによる団体向けの空手プログラムの収入。 【収入実績】 0円		コロナ感染症の影響により、実施できなかった。	

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	<p>運営業務については、コロナ禍のもとで安定的に利用者を確保していくため、感染症予防対策の徹底、効果的な広報活動、アンケート結果等を踏まえたアフタフォローを行うことにより、利用者満足度の向上に取り組むものとする。</p> <p>自主事業については、安定的に運営ができるようサービス内容の改善・向上に取り組む。引き続き、施設利用の促進に努めるものとする。</p>
-----------------------------	---

II. サービスの質の評価

評価項目		第三者（利用者等）評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
		令和元年度評価 (回答数：50団体)	令和元年度目標	令和2年度評価 (51団体)			
維持管理業務	施設・設備 (備品の充実度)	〈満足度〉 96% ・満足 84.0% ・やや満足 12.0% ・普通 4.0% ・やや不満足 0% ・不満足 0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 84.3% ・とてもよい 63.2% ・よい 21.1% ・普通 15.7% ・よくない 0.0% ・不満足 0.0% ・鏡がもう少しあるといい。 ・鏡が一面全部あるととっても良い。	A	施設・設備については、概ね高い評価を受けている。特に施設内の清潔さと駐車や室内の広さに満足いただいた。	概ね良好である。備品については、利用者からの要望をもとに、連絡調整会議等で協議しながら進めて行く必要がある。
	利用条件 (利用した感想)	〈満足度〉 96% ・満足 58.0% ・ある程度満足 38.0% ・普通 0% ・やや悪い 4.0% ・悪い 0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 98.0% ・非常に利用しやすい 80.0% ・利用しやすい 18.0% ・普通 2.0% ・あまり良くない 0.0% ・悪い 0.0% 〈改善要望〉 ・各部屋の利用人数制限を解除して欲しい。	S	利用者への挨拶や丁寧な対応は高い評価を受けている。引き続き気持ちの良い接客を意識する。	良好である。
運営業務	利用条件 (利用手続き)	〈満足度〉 94.0% ・特に問題なし 94.0% ・普通 0% ・問題あり 6.0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 75.0% ・とてもよい 53.1% ・よい 21.9% ・普通 18.7% ・あまり良くない 6.3% ・良くない 0.0% 〈改善要望〉 ・同じ内容を書く事が多い。 ・電話予約できるといい。 ・もう少し簡単にして欲しい。 ・ネットでの申し込みを希望する。	B	・受付時等に丁寧な説明を行う。	利用条件については、利用者からの要望をもとに、連絡調整会議等で協議しながら進めて行く必要がある。

<p>自主事業 (レストラン・売店)</p>	<p>〈満足度〉 96.9% ・満足 62.8% ・ほぼ満足 34.1% ・普通 3.1% ・やや不満 0% ・不満 0%</p>	<p>〈満足度〉 —</p>	<p>〈満足度〉 76.4% ・満足 55.3% ・ほぼ満足 21.1% ・普通 21.1% ・やや不満 2.5% ・不満 0.0%</p>	<p>B</p>	<p>・利用者ニーズを的確に把握するためアンケート等の工夫・改善に取り組む。</p>	<p>レストラン及び売店は一定の売上実績を確保しているものの、利用者の満足度は他に較べ低い状況にある。</p> <p>引き続き、アンケート等による利用者ニーズの把握に務め、満足度の向上に取り組む必要がある。</p>
<p>総合評価 (各評価項目の平均)</p>	<p>〈満足度〉 95.7%</p>	<p>〈満足度〉 —</p>	<p>〈満足度〉 83.4%</p>	<p>評価 (②満足度)</p>	<p>利用手続きや自主事業について、利用者手続きの簡素化などの利便性の向上に取り組む。</p>	<p>概ね利用者から一定の評価は得ているが、引き続き要望等を踏まえた改善を図って行く必要がある。</p>

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1：満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合（5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段階の割合、3段階評価の場合上位の割合）

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

- S：90%以上
- A：80%以上、90%未満
- B：70%以上、80%未満
- C：70%未満

<p>II. サービスの質の評価 取組改善案</p>	<p>施設の利用に関する満足度は高いが、手続き等の面で満足度が低い状況があり、要望を踏まえた改善を図る。引き続き、アンケート項目の見直しや回収率の向上等を図るものとする。</p>
--------------------------------	---

III. サービスの安定性評価（財務状況）

1. 事業収支

(1) 収入

(千円)

収入項目		令和元年度実績	事業計画	令和2年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	道場施設	14,302	11,893	7,799	54.5%	65.6%	
	展示施設	2,168	2,000	357	16.5%	17.9%	
	計	16,470	13,893	8,156	49.5%	58.7%	
指定管理料		63,583	58,026	58,026	91.3%	100.0%	
自主事業収入	レストラン	1,868	2,000	4,262	228.2%	213.1%	
	売店	7,338	915	1,741	23.7%	190.3%	
	空手体験教室	155	200	0	0.0%	0.0%	
	その他	279	2,153	5,478	1963.4%	254.4%	
計		9,640	5,268	11,481	119.1%	217.9%	
合計(A)		89,693	77,187	77,663	86.6%	100.6%	
<p>〈現状分析・課題〉</p> <p>利用料金収入は、新型コロナウイルス感染拡大予防のための施設の利用制限を行ったことにより、計画値に比べ減少となった。一方、自主事業収入については、レストラン事業やその他事業が伸びたことにより、計画を達成することができた。</p> <p>今後は、各経費の見直しをすすめながら、各種メディア等を活用しながら効果的なPRを行い、利用者の確保に努める必要がある。</p>							

(2) 支出

(千円)

支出項目	令和元年度実績	事業計画	令和2年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
人件費	40,137	10,190	24,222	60.3%	237.7%		
謝金	17	0	982	5776.5%	#DIV/0!		
旅費	107	88	140	130.8%	159.1%		
食料費	6	0		0.0%	#DIV/0!		
消耗品費	639	1,733	1,388	217.2%	80.1%		
印刷製本費	67	0	339	506.0%	#DIV/0!		
燃料費	25	0		0.0%	#DIV/0!		
被服費	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!		
修繕費	389	0		0.0%	#DIV/0!		
光熱水費	14,149	14,654	13,047	92.2%	89.0%		
商品仕入費	7,383	0	2,676	36.2%	#DIV/0!		
通信運搬費	250	161	723	289.2%	449.1%		
広報宣伝費	32	205	20	62.5%	9.8%		
支払手数料	152	118	51	33.6%	43.2%		
販売手数料	15	0		0.0%	#DIV/0!		
委託費・管理費	22,749	46,100	37,971	166.9%	82.4%		
賃借料	3,004	2,635	3,070	102.2%	116.5%		
備品購入費	57	0		0.0%	#DIV/0!		
保険料	215	235	349	162.3%	148.5%		
租税公課費	3,469	1,067	1,988	57.3%	186.3%		
原価償却費	0	0	578	#DIV/0!	#DIV/0!		
購読費	0	0	74	#DIV/0!	#DIV/0!		
諸会費	0	0	10	#DIV/0!	#DIV/0!		
交際費	5	1	124	2480.0%	12400.0%		
渉外費	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!		
雑費	53	0	888	1675.5%	#DIV/0!		
合計(B)	92,920	77,187	88,640	95.4%	114.8%		
<p>〈現状分析・課題〉</p> <p>計画よりも支出が増えた理由としては、当初自主事業を非常勤職員で予定していたが、収益力の強化の観点から正職員を配置したことにより、人件費が増えたことが主要因である。今後は、人件費等の経費節減に取り組み、収支バランスの均衡に努める必要がある。</p>							

2. 経営分析指標

評価指標	令和元年度実績	事業計画	令和2年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支 (C) (収入(A) - 支出(B))	△ 3,227千円	0千円	△ 10,977千円	340.2%	#DIV/0!	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	-3.6%	0.0%	-14.1%	392.9%	#DIV/0!	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	18.4%	18.0%	10.5%	57.2%	58.3%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	43.2%	13.2%	27.3%	63.3%	207.0%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	24.5%	59.7%	42.8%	175.0%	71.7%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	779.9円	647.9円	744.0円	95.4%	114.8%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	533.7円	487.0円	487.0円	91.3%	100.0%	
〈現状分析・課題〉						
収入では自主事業収入が伸びたことにより計画を達成したが、支出では正職員が増えたことから人件費の増加が影響し、収益率は△12.4%になった。 今後は、収支均衡に努める必要がある。						

評価 (③財務状況)

C

【評価基準 (③財務状況)】

収益率 (事業収支/収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

III. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	各事業での経費等の見直しやコロナ禍での収益確保の工夫等に取り組み、事業全体として収支均衡に向けた取り組みを図るものとする。 また、施設利用者の利便性向上等にも取り組みながら、効果的な宣伝PR等を通して誘客に努めるものとする。
------------------------------------	---

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入 - 支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率性が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
成果指標	①利用状況	利用者数	137,000人	146,000人	155,000人	164,000人
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%
財務指標	③財務状況	収益率	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和元年度実績	事業計画(目標値)	令和2年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和3年目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	94,561人	137,000人	32,965人	34.9%	24.1%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部利用制限を行ったことが利用者及び観覧者数が減少した。	C	コロナ禍のもとで、感染症対策の徹底、ターゲット層に応じた各種メディアを活用した広報活動、丁寧な顧客対応などに取り組み、集客を図る。	146,000人
	②満足度	満足度	95.7%	90%	83.4%	87.1%	92.7%	利用者の満足度の向上を図るため、アンケートの評価項目の見直し、回収数を上げる工夫を行う必要がある。	A	施設の利用者の満足度の向上を図るため、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	△3.6	0.3%	△12.4%	12.0%	12.0%	収入について、自主事業が対前年比で大幅に減となっていることや、支出では職員増員等に伴う人件費の増加が影響し、収益率は△3.6%である。 人件費等の経費見直しや広報の工夫などによる入館者の増加対策等も併せて行い、収支改善を図る必要がある。	C	事業の継続性を確保する観点から、事業収支の改善を図る。	0.3%
活動指標	④重点取組事項	自主事業(売店・レストラン)	〈満足度〉 96.9% ・満足 62.8% ・ほぼ満足 34.1% ・普通 3.1% ・やや不満 0% ・不満	-	〈満足度〉 76.4% ・満足 55.3% ・ほぼ満足 21.1% ・普通 21.1% ・やや不満 2.5% ・不満 0%	76.4%	-	レストラン及び売店の利用者の満足度は高いが、来館者の利用率が低いため、県民や観光客への周知方法等をはじめ実施内容について検討する必要がある。	B	施設の利用に関する満足度は高いが、要望を踏まえ改善を図る。また、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る。	95%

総合評価

C

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

【総合評価基準】

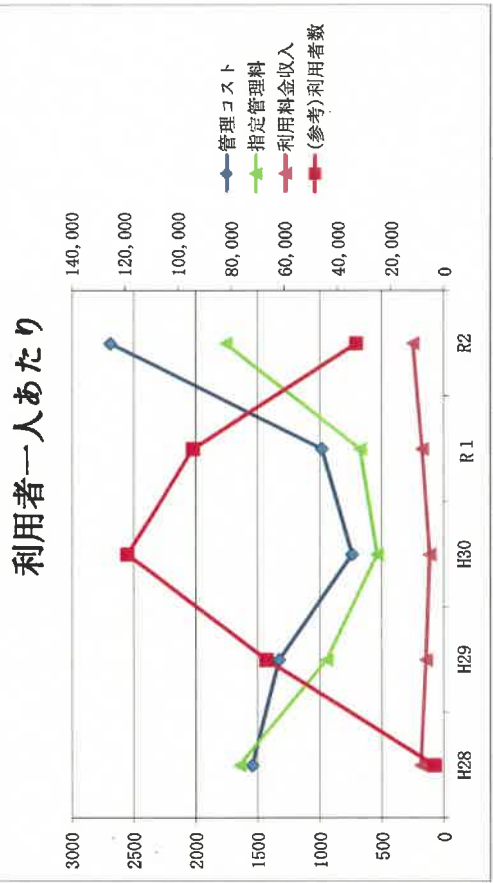
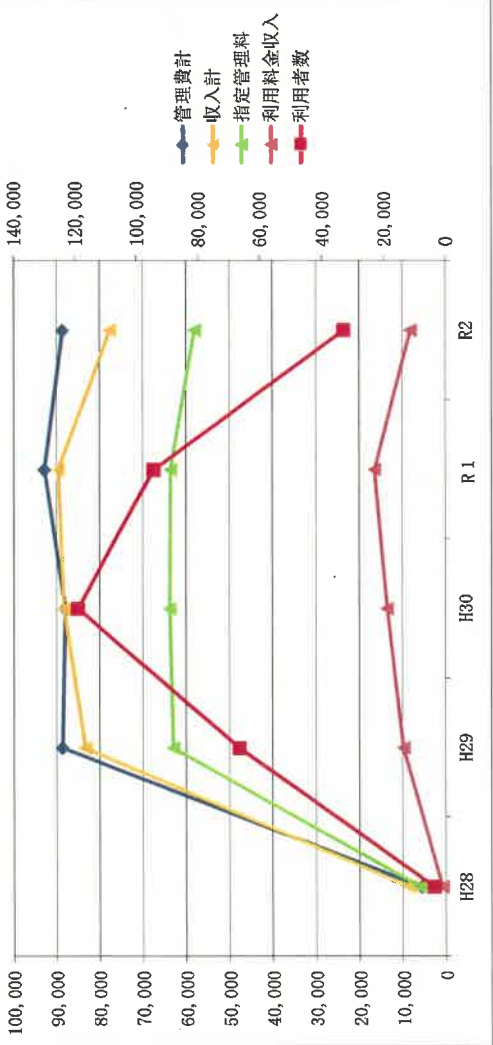
	総合評価基準	
S	40点以上	かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上	
B	10点以上	
C	5点以下	

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

経営状況分析シート【施設名称:沖繩空手会館】

指標	直営										指定管理									
	単位	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
成果指標	利用者数	人															119,000	128,000	137,000	146,000
	実績																119,140	94,561	32,965	
財務指標	指定管理料	千円															100.1%	73.9%	24.1%	
	職員退職金(指定管理料/管理費)	%															179%	79.4%	34.9%	
/単位	利用者数	千円															63,812	63,583	58,026	
	収入計	千円															72.5%	68.4%	55.5%	
/単位	管理費計	千円															8.0%	11.7%	18.4%	
	収益率(収支/収入計)	%															83,390	89,693	77,663	
/単位	一人あたり管理コスト	円															2,804	294	-10,977	0
	一人あたり指定管理料	円															33.8%	-6.3%	-3.6%	
/単位	一人あたり利用者数	円															1544	1328	983	
	一人あたり利用者収入	円															1647	944	538	
/単位	管理費計	円															186	146	174	
	収入計	円															294	-3,227	-10,977	



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

R2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設の一部利用制限等の影響により、利用者数が大幅に減少した。
R1年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設の一部利用制限を行ったため、利用者数が減少した。
H30年度	第1回沖縄空手国際大会の開催等もあり、利用者が増加した。
H29年度	実質的に供用開始初年度
H28年度	平成29年3月4日供用開始
H27年度	

目標設定の考え方 ※目標設定の根拠や考え方を記載

R2年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
R1年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
H30年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
H31年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
令和元年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
令和2年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値